



「自ら学び、心豊かにたくましく 国際社会を生きぬく 児童生徒の育成」 合い言葉は「自立・貢献・気品」

進学・ご入学おめでとうございます。ロンドン日本人学校校長の平岡仁樹です。何卒よろしくお願いいたします。毎月お届けするこの「学校だより」を通して、児童生徒の学びや学校生活の様子をお知らせしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

本校では、学校教育目標として「**自ら学び、心豊かにたくましく 国際社会を生きぬく 児童生徒の育成**」を掲げています。

これからの社会は、変化が激しく、正解のない課題に向き合う場面がますます増えていきます。そのような時代を生きる子供たちには、与えられたことをこなす力だけでなく、自ら学び、考え、判断し、行動する力、そして多様な人々と関わりながらよりよい社会を築こうとする姿勢が求められます。本校は、学力の向上はもちろんのこと、心の成長とたくましさを大切に、将来、国際社会においても信頼され、活躍できる人間の育成を目指してまいります。

こうした教育目標の実現に向けて、本校では「**自立・貢献・気品**」という学校の合い言葉を大切にしています。

自分で考え、主体的に行動する「**自立**」。周囲の人や社会のために力を発揮しようとする「**貢献**」。そして、言葉遣いや態度、立ち居振る舞いの中に表れる「**気品**」。これらは、一朝一夕に身に付くものではなく、日々の学校生活の積み重ねの中で育まれていくものです。

この合い言葉に出会ったときに思い出した言葉があります。

「何を言うか」が知性。

「何を言わないか」が品性。

「どう伝えるか」が人間性。

この言葉は、知識や考えをもつことの大切さと同時に、それをどのように扱い、相手を思いやりながら表現するかが、人としての成熟に直結することを示しています。

この考え方こそが、「**自立・貢献・気品**」という本校の合い言葉の精神そのものであり、子供たちが目指すべき姿であると考えます。

本校では、授業や学校行事、日常の生活指導など、あらゆる学校教育活動を通して、児童生徒一人ひとりがこの合い言葉を理解し、実際の行動として表すことができるよう、教職員一同、心を一つにして取り組んでまいります。そして、失敗やつまづきを成長の機会として捉え、互いを認め合い、支え合いながら前に進むことのできる児童生徒になってもらいたいと考えています。

今後も、ご家庭と連携しながら、児童生徒の可能性を大切に育てまいります。今年度も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

